

## 在宅医療・介護多職種連携協議会

## 啓発・広報部会

～報告～

## 部会の目的

在宅医療・介護に係る市民啓発について検討する。

- 市民啓発推進の検討
- 在宅医療情報紙わがやの発行
- その他，在宅医療に関する啓発関係の検討

## 内容

## 第3回部会

ハイブリッド形式  
(令和6年1月26日)

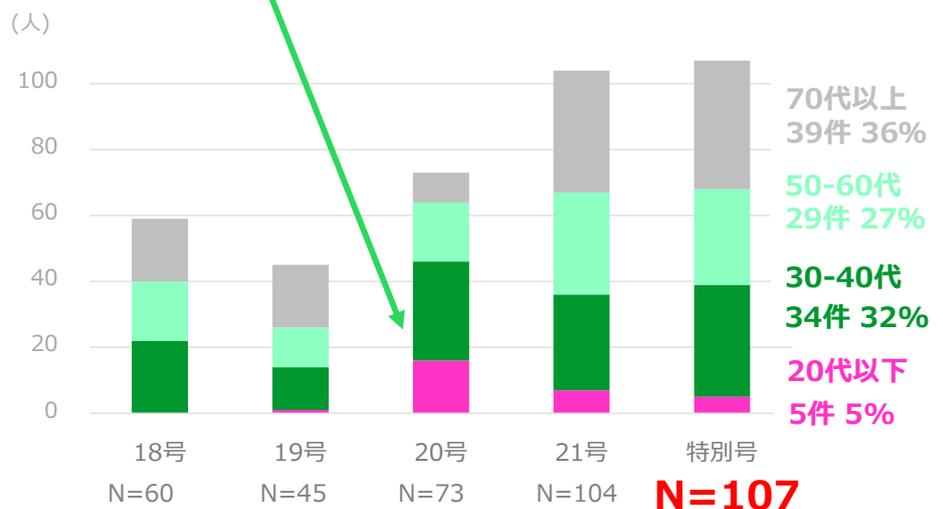
- 報告 在宅医療情報紙「わがや」  
地域啓発活動（在宅医療出前講座ほか）  
在宅医療認知度アンケート
- 議事 当面の目標と活動指針／次年度の取組みについて

1

## 報告 | (1-1) 在宅医療情報紙「わがや」特別号 クイズ応募者比較

## 「わがや」特別号 (R5.9.1発行)

応募者数は前号に続き，過去最多

子育て世代などをターゲットとした内容（20号以降）では，**30-40代の割合が増加した**

2

◆ テーマ：もっと知ってほしい！！「地域包括支援センター」

- 在宅医療の入口でもある地域包括支援センターをより身近に感じてもらうために、地域包括支援センターの役割について掲載
  - 「困ってから行く」というイメージを払拭し、困る前から利用できる、65歳以上の人なら誰にでも関係がある存在であることを知らせたい！  
⇒介護予防（健康づくり）に触れることで、より多くの人にとって関心を持てる内容に



◆ 紙面構成

・ フレイル予防

⇒いつまでも健康でいるために、気軽に楽しく予防に取り組んでみませんか？

・ 認知症サポート

⇒認知症のかたや介護者が安心して暮らしていけるための取り組みとして、認知症カフェ等を紹介

・ 地域包括支援センター職員からのメッセージ

⇒「チームワークで皆さんの生活を支えます」

3

報告 | (2) 地域啓発活動

◆ 在宅医療出前講座 R5年度 申込状況

R6.2.14時点

対象	申込件数	実施回数 (専門職講演回数)	参加人数 * 延数
老人会・サロン・町会など	7	7 (0)	142
民児協・地区社協・ふる協	4	3 (1)	108
その他 (市民団体, NPO等)	1	1 (0)	17
合計	12	11 (1)	267

出前講座の様子



H30年度実績：計33回／1,280名  
R01年度実績：計23回／706名  
R02年度実績：計4回／53名  
R03年度実績：計9回／209名  
R04年度実績：計12回／230名

専門職による出前講座を実施  
次年度から本格的に再開予定

◆ 道の駅しようなんでのスープ配布

- R4年度に実施したスープレシピコンテストの最優秀賞スープを道の駅しようなん「ちやのごカフェ」で提供
- 12/4(月)～12/8(金)に1日30～50杯を配布
- 売り場には在宅医療の啓発コーナーを設置



啓発コーナー



ちやのごカフェ

4

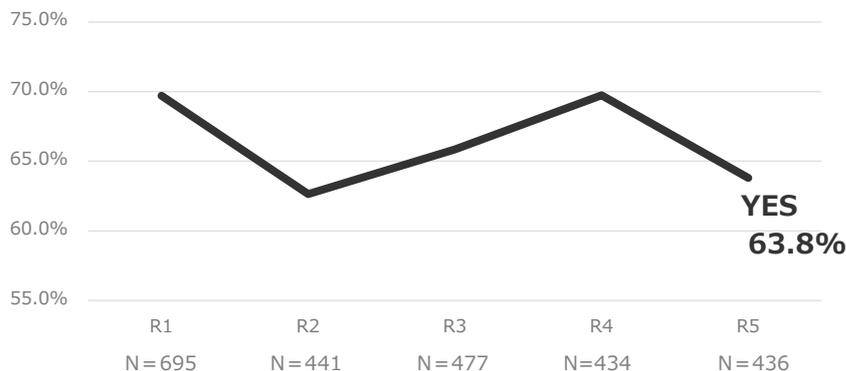
# 報告 | (3) 在宅医療認知度アンケート

## ■ 概要

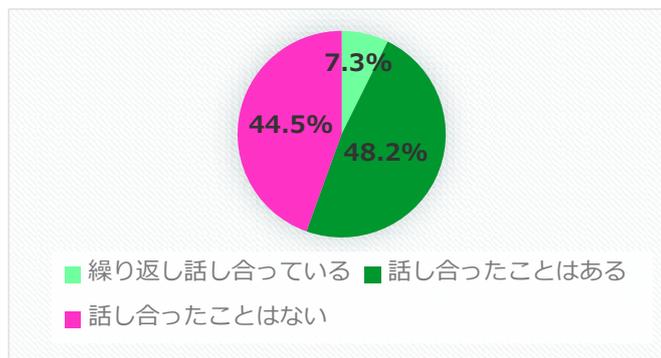
目的	啓発・広報活動の評価と取組みへの参考とするため
実施方法	三師会各会員に、来訪者が回答できるようアンケート用紙の設置を依頼 出前講座の受講前に回答を依頼
対象	医科・歯科診療所、薬局等来訪者／出前講座参加者
実施時期	毎年12月頃（3週間程度） ※出前講座は年間を通して随時
回答数	<b>436名</b>

## ■ 結果

Q 通院が困難となった場合、在宅医療を利用できることを知っていますか？



Q.自分が望む人生の最期の迎え方について、普段から身近な人と話し合っていますか？



5

## 議事 | 当面の目標と活動指針

これまでの議論から、**当面の目標と活動指針を設定**  
(評価は認知度アンケートを活用)

部会の目的

“目指す姿”に近づけること



目指す姿

「ひとりでも多くの市民が人生の最終段階の暮らし方について  
近い人と日頃から繰り返し話し合っている状態」

★指標 認知度アンケート (R5年度：7.3%)  
(参考値) 千葉県在宅医療実態調査 (R5年度：2.0%)

当面の目標

自身の最終段階の暮らし方について、言語化している状態

活動指針 (= 目標達成に向けた取り組み)

1. 人生の最終段階の暮らし方の選択肢として在宅医療があることを伝える  
★指標 認知度アンケート (R5年度：63.8%)
2. 自身の価値観を言語化し、近い人に伝える必要性があることを伝える  
★指標 認知度アンケート (未設定)

6

## テーマ① 認知度アンケートの見直しについて

### 意見

- ・ 病院などで目に付くところに置いてもらえるよう依頼する
- ・ QRコードを載せたアンケート用のポスター等を掲示してもらえるよう関係機関に依頼する
- ・ 実施期間を長くして目に入る機会を増やす

## テーマ② 専門職による出前講座について

### 意見

- ・ 継続的に実施する流れができるとうい。同じ人たちに連続して受講してもらうことで効果が上がる
- ・ 予防医学講座など、他の類似テーマの講座と連動することで、幅広く興味関心を持ってもらえる
- ・ 専門職としての経験を踏まえて内容を構成し、職種ごとの特色を出すことで、ニーズが増える

## テーマ③ わがや23号のテーマについて

### 意見

- ・ 自分が受けられる介護制度について
- ・ 在宅医療への移行のきっかけについて
- ・ 在宅医療に関わっている各専門職の役割について
- ・ 在宅医療に関する相談先について

上記意見を参考に、次年度以降の取り組みに活かしてまいります。

7

## 今後の予定

### 令和6年度第1回部会 (令和6年5月下旬頃)

- ・ 専門職による出前講座の実施状況報告
- ・ 在宅医療情報紙「わがや」の内容検討 等

### わがや23号発行

- ・ 令和6年9月1日発行予定

8